

令和2年度

空知の研究活動

研修部長

深川市立一已小学校

校長 細木 隆 浩

1. はじめに

空知校長会は、小学校長59名、中学校長41名の計100名の会員で組織されている。空知の研究活動は、今年度より「第6次3か年計画」をスタートした。共同研究を進めるブロックも新たに再編し、研究主題の解明に向け、研究大会を中心に据えて活動していく予定であった。しかし、ご存知のコロナ禍で、研究大会はもとより、ほとんどの計画を中止せざるを得なくなってしまった。そこで、各研究ブロックの取組を今年度は研究紀要にまとめ、3か年計画の初年度の成果と課題を今後につなげていくこととした。



<11月10日 市町研修担当者研究協議会>

2. 研究計画

(1) 研究推進の基本方針

- 基本主題を解明するために、研究の母体となる市町校長会や研究ブロックとの一層の連携強化と校長会研究大会の内容充実に努める。
- 生涯学習社会における学校教育の役割を踏まえ、個性を伸ばし、心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成のため、研修活動の活発化に努める。
- 上部校長会の研修活動に積極的に参加し、視野を広めるとともに、その成果の還流を通して校長としての職能向上に努める。
- 北海道教育推進計画や空知教育行政方針に基づき、学校教育の向上に資するよう努め、施策に対して積極的に取り組むとともに意見を反映する。
- 学習指導要領に基づき、各共同研究ブロックにおいてもこの趣旨を十分に踏まえた実践に努める。
- 特別支援教育、へき地・複式教育の充実・振興のため、協力体制の確立に努める。
- 管内教育関係団体との連携・協力を深め、団体加入促進や研究会参加喚起等の啓発活動の推進に努める。

(2) 基本主題 <第6次3か年計画の1年次目>

『新たな時代を豊かに生き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる学校教育』

(3) 分科会ごとの協議題と重点研究領域

- 第1分科会協議題「社会に開かれた教育課程」

<主題>「社会に開かれた教育課程」の実現

<重点研究領域>

1年次・・・創意工夫に基づく調和のとれた教育課程の編成・実施

2年次・・・「カリキュラム・マネジメント」の推進

3年次・・・学校や地域の特色を生かし人間として調和のとれた育成を目指す教育課程の編成・実施

- 第2分科会協議題「資質・能力の育成と学習評価」
 - <主題>新たな時代に求められる資質・能力の育成と学習評価の充実
 - <重点研究領域>
 - 1年次・・・学力向上を目指した学校経営の推進
 - 2年次・・・「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した学校経営の推進
 - 3年次・・・保護者・地域と連携した開かれた学校経営
- 第3分科会協議題「豊かな心と健やかな体を育む教育」
 - <主題>豊かな心と健やかな体を育む教育の充実
 - <重点研究領域>
 - 1年次・・・自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現をはかるための自己指導能力を育成する生徒指導の充実
 - 2年次・・・よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育の充実
 - 3年次・・・健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実
- 第4分科会協議題「教員の育成と働き方改革」
 - <主題>多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成と働き方改革の推進
 - <重点研究領域>
 - 1年次・・・勤務時間を意識した働き方改革の推進と学校運営体制の充実
 - 2年次・・・教職員としての使命感を高める校内研修の充実
 - 3年次・・・教職員としての豊かな人間性や指導力の向上
- 第5分科会協議題「学校・家庭・地域及び校種間連携」
 - <主題>家庭・地域や校種間における連携・協働の推進
 - <重点研究領域>
 - 1年次・・・学校の教育活動への参画を促す学校経営
 - 2年次・・・小・中学校との円滑な接続を目指す小中連携・一貫教育の推進
 - 3年次・・・学校の教育活動と関係機関等と連携した学校経営

3. 研究活動の概要

- 研究紀要の発行（「第6次3か年計画」1年次のまとめとして作成）
- 研修だよりの発行
 - ・年1回の発行予定（「今年度の成果」と「次年度に向けて」）
- 各種上部校長会の研究大会への参加 【中止】
 - ・第63回北海道小学校長会教育研究 オホーツク・北見大会
 - 第10分科会「危機対応」 *誌上提言
 - コロナ危機下での学校の安全・安心の確保と学びの保障のあり方
 - ～緊急事態宣言による臨時休業時の各校の取組と今後の展望について～
 - 砂川市立豊沼小学校 古畑 聡子 校長
- 全連小各種委員会調査への協力
- 各種研究団体・研修会への協力
 - ・空知教育センター講座「学校経営」講師として 【中止】

4. おわりに

11月10日に行った市町研修担当者研究協議会において、今年度の共同研究ブロックの成果をまとめた研究紀要を全会員に配布した。また、第6次3か年計画の2年次に向けての説明も行い、空知の研究活動にとっては、「大晦日と元旦」のような日となった。

コロナ禍の沈静化はいつになるのか見当もつかないが、これまでに培ってきた研究のマネジメントサイクルに基づき、共同研究ブロックの代表者を中心に、今後も計画的に研究を進め、空知の子どもたちのために、校長としての職能向上に努めて参りたい。